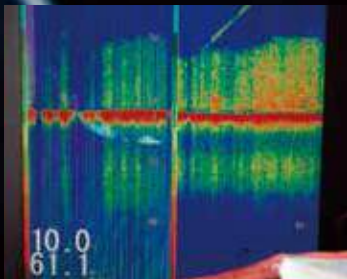


FISHIN'GRAPH

フィッシン'グラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

②7 東京湾 食い渋りタチウオ攻略の糸口

1投目、イワシにわずか一カ所、傷が残る。食い渋るタチウオとの頭脳戦が始まる



▲反応が海底から12メートルの間に濃密に出るものの、口を使わない



▲だれもアタリが出なくなると移動。船長にとっても、もどかしい



アタリはわずか手に伝わる程度、気のせいと思わせるほど、かすかなものだった。しかし、それがタチウオのアタリであることは、イワシに残された噛み跡と呼べないほどの小さな傷が物語っている。

魚群探知機にも濃密な反応が出ている。なのに、テンヤには食わない。

「色んな釣り場を見てきて言えることは、タチウオは反応があれば、ほとんどの場合は釣れる、ということですよ。

ところが、東京湾だけは違います」

急速に全国へ広がるタチウオフィー

ルドの先端を知る富所潤さんは、この、いても食わない現象こそ、冬～春の東京湾ならではの面白さだと言う。

船長や釣り人はこの状況を悶絶、あるいは苦行と表現して楽しむ。

手がかりはわずかな、1回きりのアタリとイワシの傷と、同船者。タチウオを釣り上げた人の誘い方、竿の調子、テンヤの色、そしてときにタナを聞き、自分と照らし合わせていく。

富所さんはまず、タチウオが捕食しやすいよう海中でテンヤを安定させる

狙いで、竿をサーベルマスターエクス

とみどこるじゅん シモノインストラクター、ティップエング、メタルステッゲーム、タチウオをはじめ、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端を行う。



水温が下がる2～3月でも水深60メートル台にタチウオがとどまるようになった東京湾



◀探見丸搭載船であれば探見丸スクリーンにより海底の変化や魚群、自分の仕掛けの位置などをリアルタイムで知ることができる

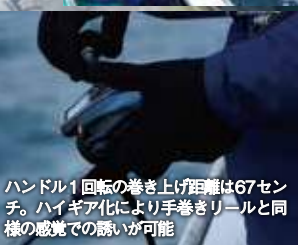


▼クルマのアクセルのように押した分だけ速度が上がり、離すと戻るタッチドライブスピードロック機能



【当日の富所さんのセッティング】
・大型を想定して「ファイト速」は13
・微速巻の誘った潮ヨレを探すときに有効な「さそい速」は1~3
・跳ね上げアタリに対処可能なフッキングモードをON

▶静止、または、さそい速からワンタッチで最高速まで瞬時に加速させるフッキングモードは跳ね上げアタリなどにどのような姿勢からも素早い電動合わせを可能にする



ハンドル1回転の巻き上げ距離は67センチ。ハイギア化により手巻きリールと同様の感覚での誘いが可能



【フォースマスター600DH】
◎タチウオ、マダイを始め様々なターゲットに対応するフォースマスター600。テンヤタチウオではタッチドライブスピードロックをはじめ、多彩な新機能を存分に生かすことができる。
◎SPEC 糸巻量PE=2号-300m.3号-200m、ハンドル長=55mm ペアリング数BB8 / ローラー2 本体価格=9万5200円

わずか1カ所、イワシに残された噛み跡から始まり、タナ、誘い、テンヤ、エサと答え探しの末に大型が掛かる。釣果の数字に現れないプロセスこそ、東京湾テンヤタチウオの魅力



◀シルエットの小さいテンヤとイワシで連釣

▲シバイブレーション釣法に向くサーベルマスターエクスチューンテンヤ91H173で繊細に探る

▶周囲の船と釣り人を観察して策を考える

◀波の上下動の中、サーベルマスターエクスチューンテンヤ73M190でテンヤを安定させてみる

ところが、この潮ヨレが微妙で把握しにくく、変化するうえ、ようやく見つけても簡単にはアタつてこない。富所さんは竿を再びサーベルマスターエクスチューンテンヤ91H173に戻し、潮ヨレが生じる狭い範囲で小刻みなバイブレーションを繰り返しようやくアタリを出させる。だが、アタリは1回きりで弱く、掛からない。「テンヤのシルエットを小さくします。シルエットが小さいほどいいと言われ

チューンテンヤ91H173から、73M190に変更する。この日は北風が10メートル近く吹き波も荒い。73調子の穂先はシグナルを目で捉えるのにも有効。しかし、肝心のアタリは出ない。フォースマスター600のさそい速を1~3と変更しつつ、省エネバイブレーションと微速巻で潮の重さが変わる場所、タチウオの食いタナとなる「潮ヨレ」を探す。

この日は北風が10メートル近く吹き波も荒い。73調子の穂先はシグナルを目で捉えるのにも有効。しかし、肝心のアタリは出ない。



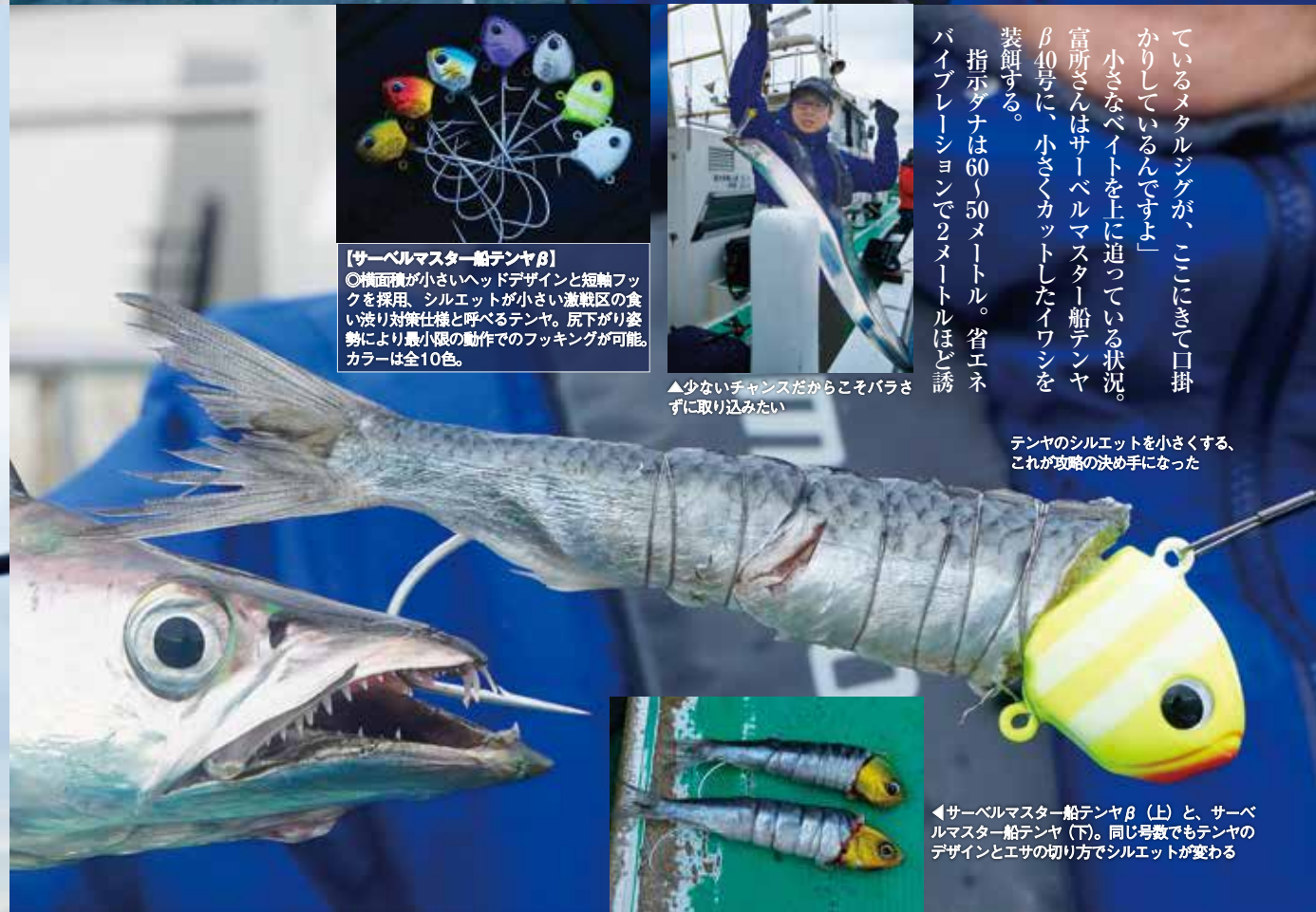
【サーベルマスター船テンヤβ】
◎横面積が小さいヘッドデザインと短軸フックを採用、シルエットが小さい激戦区の食い渋り対策仕様と呼べるテンヤ。尻下がり姿勢により最小限の動作でのフッキングが可能。カラーは全10色。



▲少ないチャンスだからこそバラさずに取り込みたい

ているメタルジグが、ここに来て口掛かりしているんですよ」小さなベイトを上を追っている状況。富所さんはサーベルマスター船テンヤβ40号に、小さくカットしたイワシを装餌する。指示タナは60~50メートル。省エネバイブレーションで2メートルほど誘

テンヤのシルエットを小さくする、これが攻略の決め手になった



◀サーベルマスター船テンヤβ(上)と、サーベルマスター船テンヤ(下)。同じ号数でもテンヤのデザインとエサの切り方でシルエットが変わる